

ゆいの里だより

No.3
23年3月発行
NPO 法人結の会
宇和島市三間町増田 20
TEL/FAX
0895-20-7128
E-mail
yui7128@ybb.ne.jp
URL
<http://yuinosato.com/>
ゆいの里 よもぎ湯
で検索

県と国からの推薦を受け 愛媛県から三事業所参加

至福のお届け IN 東京 秋葉原



昨年五月、「国と県の共同開催で『展示・即売会及び好事例発表会』という催しが行われるので、応募しませんか？」という文書と電話が愛媛県社会協議会からありました。せっかくなので：と応募した所、県から国への推薦を受け、展示・即売のみならず好事例発表もさせてもらえる事になりました。

十月二十九・三十日と二日間、東京で「ベルナル秋葉原」を会場とし『至福のお届け』と題して、全国三十八都道府県から推薦を受けた九十四事業所の製品やサービスが一堂に会しました。

全国からの物品が広い会場に所狭しと並び「ナイスハート」「バザール」と銘打ち即売会を行う様子は田舎者の『ゆいの里』にとってはまさに圧巻でした。

同時に、二階で好事例発表会が行われ、愛媛県から参加した三事業所のうち、発表をしたのは『ゆいの里』と、今治でパンの製造販売を行っている『麦の穂』さんでした。

発表では『ゆいの里』の紹介から始まり、よもぎ湯・ハウス栽培・季節の野菜・柑橘・食品加工の各事業について説明しました。

各地の事業所の方とも質問などの会話を通じて仲良くなっていき、協力して商品開発をしませんか、と名刺交換をした所もありました。これからはいろいろな事業所と協力・連携・発展を目指していこうとお互い話合いいい刺激をうけました。



県内一泊旅行 十一月十七日(水)・十八日(木)

『ゆいの里』では、旅行を二年に一度実施しています。四年前の「山陰 松江・出雲方面」、二年前の「神戸・大阪方面」に続いて、今年度は『近場でゆったり』をスローガンに県内旅行を実施しました。



一日目

「マイントピア別子」で砂金採りに励み、昼食後は「県立総合科学博物館」でプラネタリウムを見学しその後、道後温泉で宿泊しました。旅館では温泉に入り、宴会でごちそうを食べ、最後はいつものようにカラオケに移り、順番待ちが出るほどの大盛り上がりでした。



二日目

いつも親しく交流している『事業所 ひかり』を視察させてもらいました。今年度から新しい施設に引越して、気分も新たに取り組んでいる様子が見え、うかがえました。



その後、ショッピングを楽しみ、午後からは「坊っちゃん劇場」にてミュージカル『正岡子規』を見て涙を流し、帰路につきました。みなさん、お疲れ様でした。

22年度 下半期活動報告

12月25日(金) (ケーキは安岡賢治さん差し入れ)
クリスマスランチメニュー (280円)



11月3日(水)
コスモスまつり



10月17日(日)
隣保館まつり



2月18日(金)
ヤマト福祉財団助成取材



12月9日(木)・2月22日(火)
防火・防災訓練



10月25日(日)
吉田産業祭



二二年度も
ありがとうございました
早いもので、今年度も皆様のご協力のおかげで三月の年度末を迎えることができました。
今年度はヤマト福祉財団より助成金を受けて、松本妙子さん方の納屋を食品加工場に改造し、いろいろな漬物やお餅などを作り、『道の駅』や宇和島のスーパー『サンシャイン』で販売を始めました。お蔭様で売れ行きも良く、順調な滑り出しとなりました。
二月十八日にはヤマト福祉財団からの取材も受け、来年度はいろいろな新商品を開発して、もっともっと売り上げを伸ばしていきたいと担当職員を中心にみんなで燃えているところです。

ゆいの里 事業担当職員紹介

よもぎ湯事業 松岡 洋右
来年度も田んぼ四か所約三トンの収穫をめざします。

季節の野菜事業 大西 満治
三月に新しい品種「葉ごぼう」を試験に栽培出荷しましたが、知名度が低く売れ行きはまいちでした。これにめげず、また頑張っていきたいと思います。

きゅうり・春菊事業
今西 日出夫・山崎 孝行
今年もハウス三棟できゅうりと春菊を作り収益増をはかります。

食品加工事業 富永 小夜子
好評だったよもぎ餅に代わって、おいしい新商品を開発、道の駅・サンシャインでもうすぐ売り出し予定です。

柑橘事業 小清水 澄代・稲田 貴子
新しく取り扱う品種をさがしています。

あとがき

作業所裏のビニールハウスの資材置き場の中に、ある職員が奇抜な方からいただいたきた「卓球台」がいつの間にか、二台座っています。これが利用者さんの間では大好評で、今では朝練に励んでいる人もいるくらいです。三月に入って「卓球大会」を開催しみんな楽しんでくれました。

